

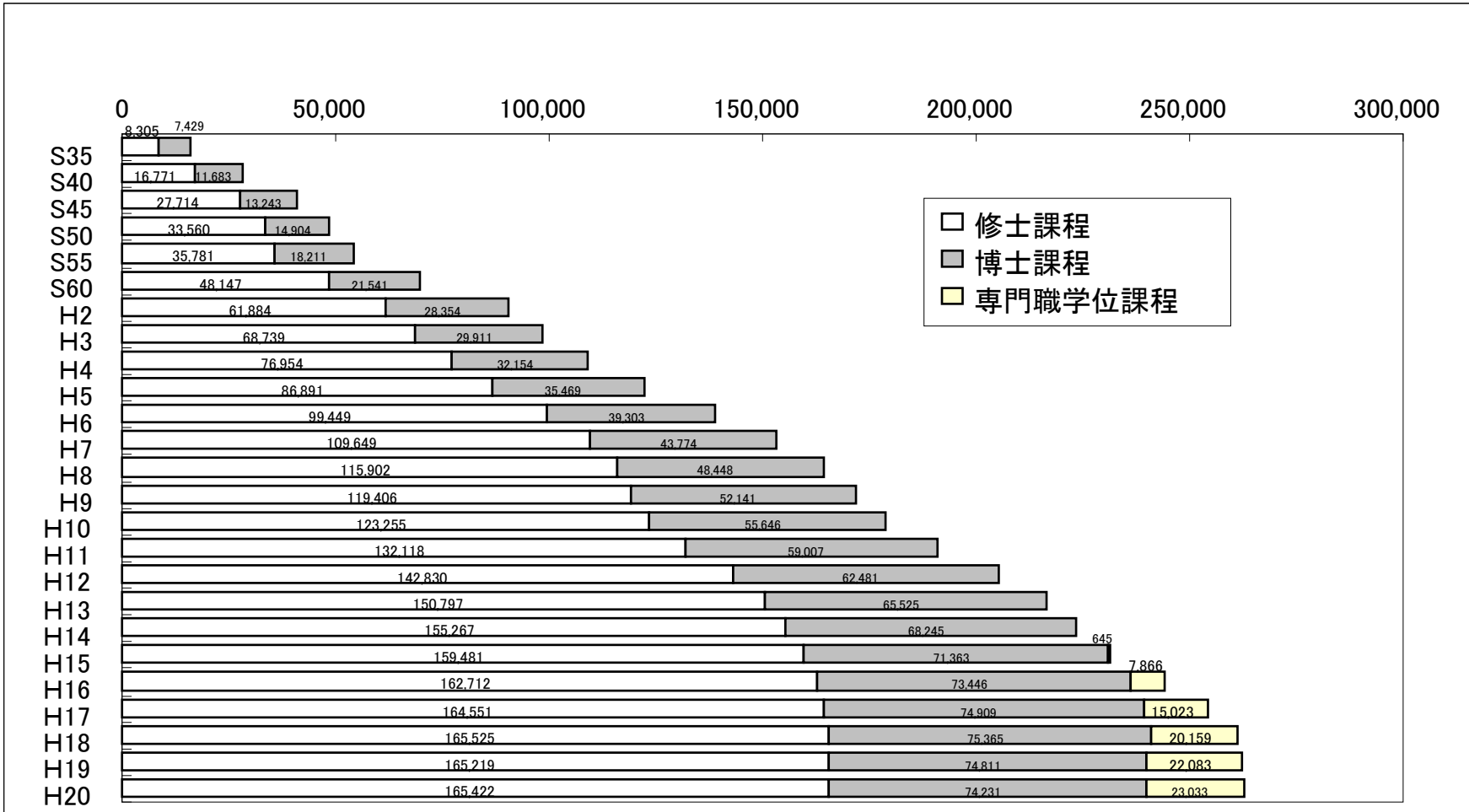
研究者養成 関連データ

目次

- 大学院在学者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 博士課程修了者数及び就職者数の推移・・・・・・・・・・ 2
- 博士号取得者のキャリアパス・イメージ【現状】・・ 3
- ポストドクター等の在籍機関別内訳・・・・・・・・・・ 4
- ポストドクター等の分野別比率・・・・・・・・・・ 5
- ポストドクター等の財源別内訳
（2006年度実績）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 大学における若手教員の状況（国公私全体）・・・・ 7
- 大学における若手教員の状況（国公私別）・・・・ 8

大学院在籍者数の推移

- 平成20年度現在、博士課程在学者数は、**74,231人**である
- 平成3年から平成12年までの9年間で、大学院在学者数は2倍超となっている

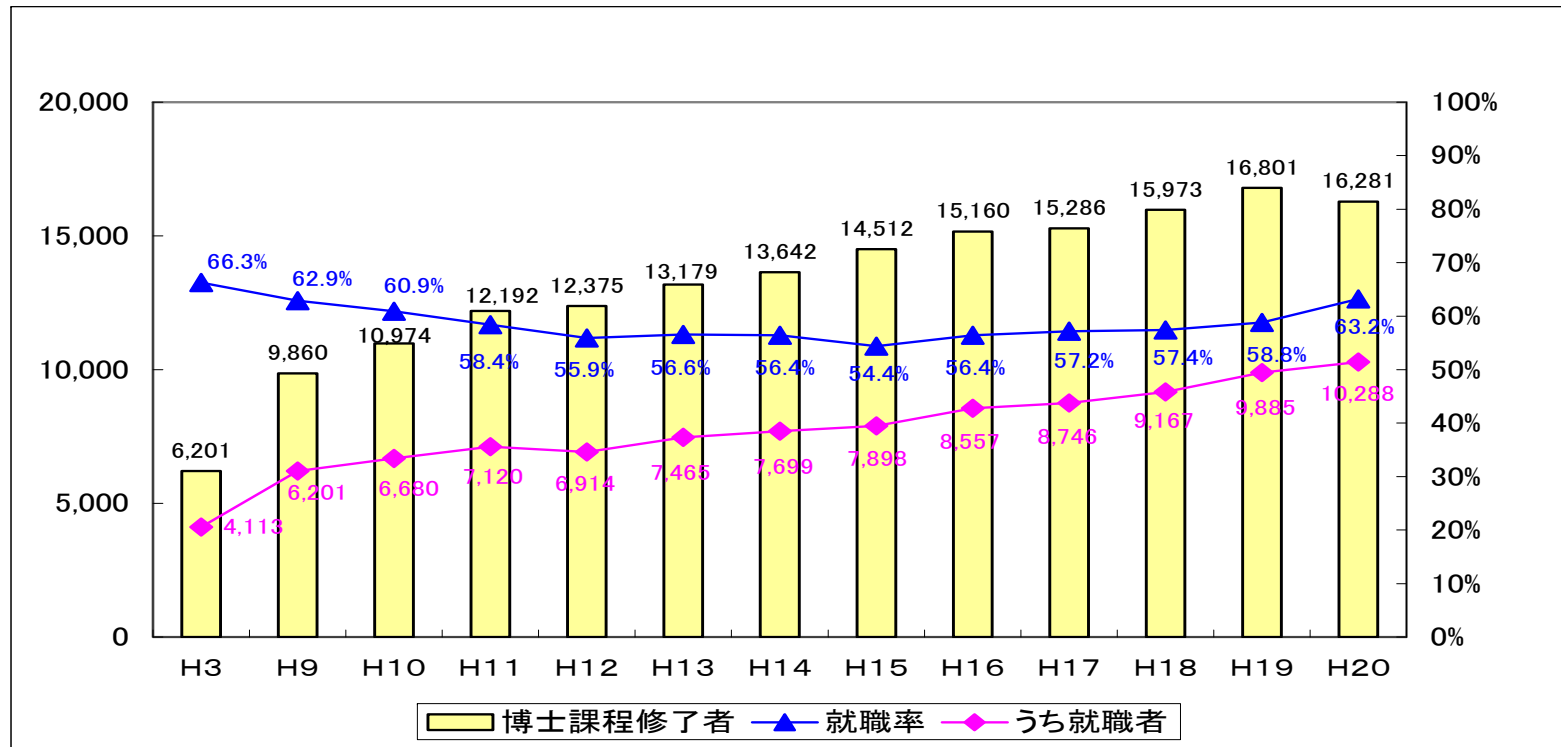


「修士課程」: 修士課程、区分制博士課程(前期2年課程)及び5年一貫制博士課程(1,2年次)
 「博士課程」: 区分制博士課程(後期3年課程)、医歯獣医学の博士課程及び5年一貫制博士課程(3~5年次)
 通信教育を行う課程を除く

出典: 学校基本調査

博士課程修了者数及び就職者数の推移

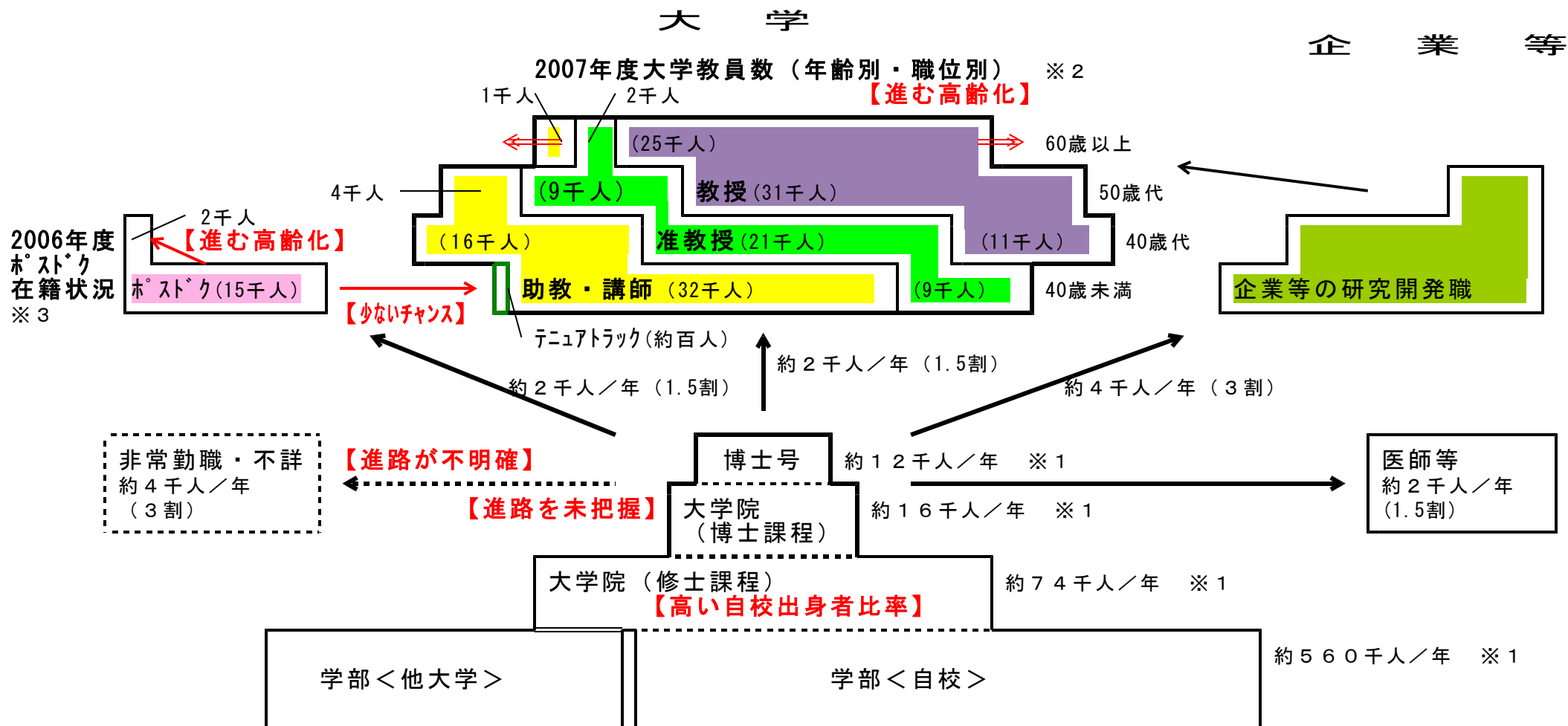
- 博士課程修了者は増加傾向にある。
- 博士課程修了後の就職者の割合は**6割程度**で推移している。



(注)・博士課程修了者には、所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む
 ・就職者とは、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう

出典：学校基本調査

博士号取得者のキャリアパス・イメージ<現状>



※1：「学校基本調査報告書（高等教育機関編）」（2006年12月、文部科学省） 注：進路別の人数には満期退学者を含む。

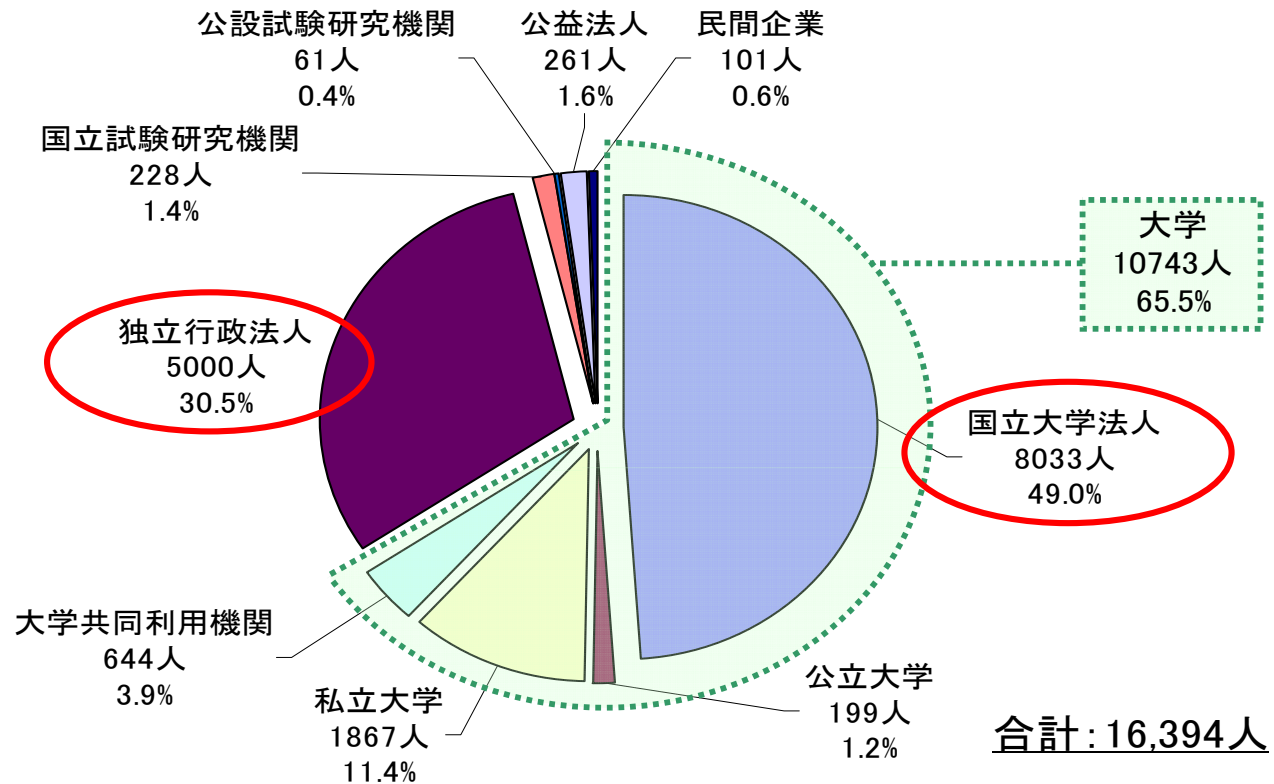
※2：「学校教員統計調査報告書」（2009年3月、文部科学省） 注：本務教員数であり特任教授等を含む。

※3：「大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査」（2008年8月、科学技術政策研究所） 注：満期退学者を含む。

ポストドクター等の在籍機関別内訳

ポストドクター等の在籍機関別内訳

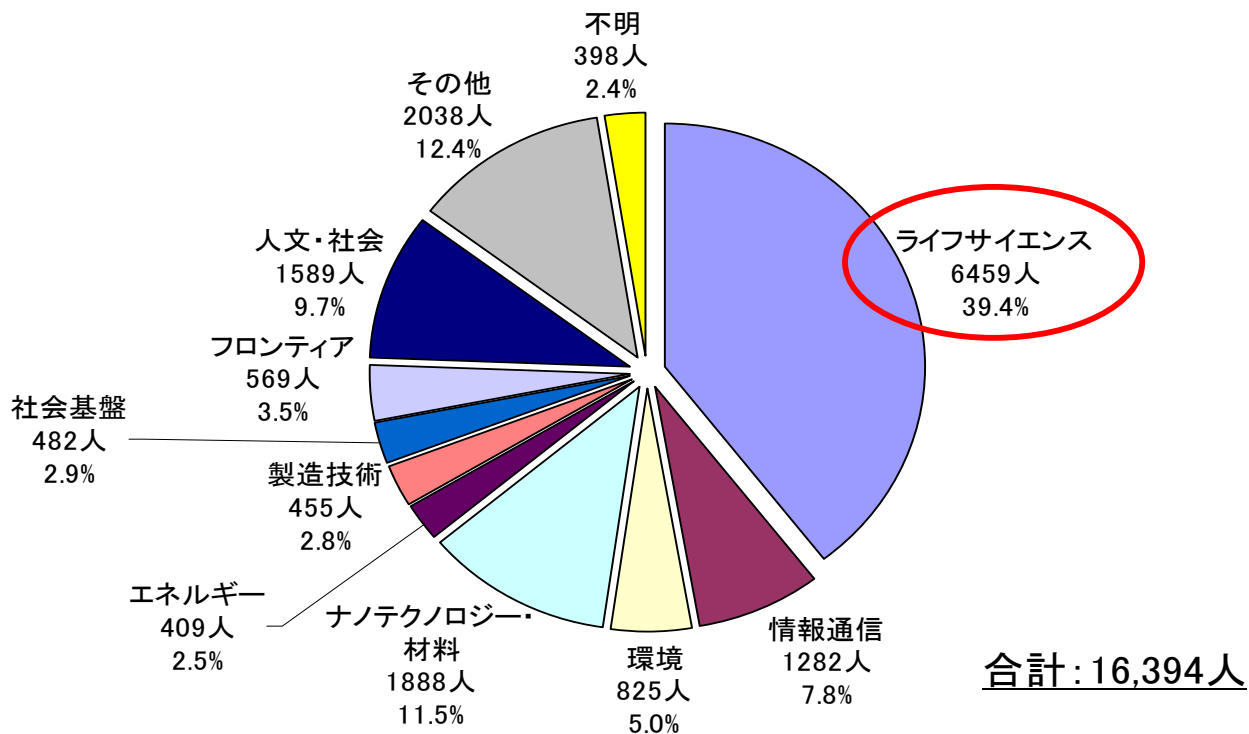
- ポストドクター等の雇用人数は、平成18年度実績で、**16,394人**である。
- その多くは、国立大学法人又は独立行政法人に在籍している。



ポストドクター等の分野別比率

ポストドクター等の分野別比率

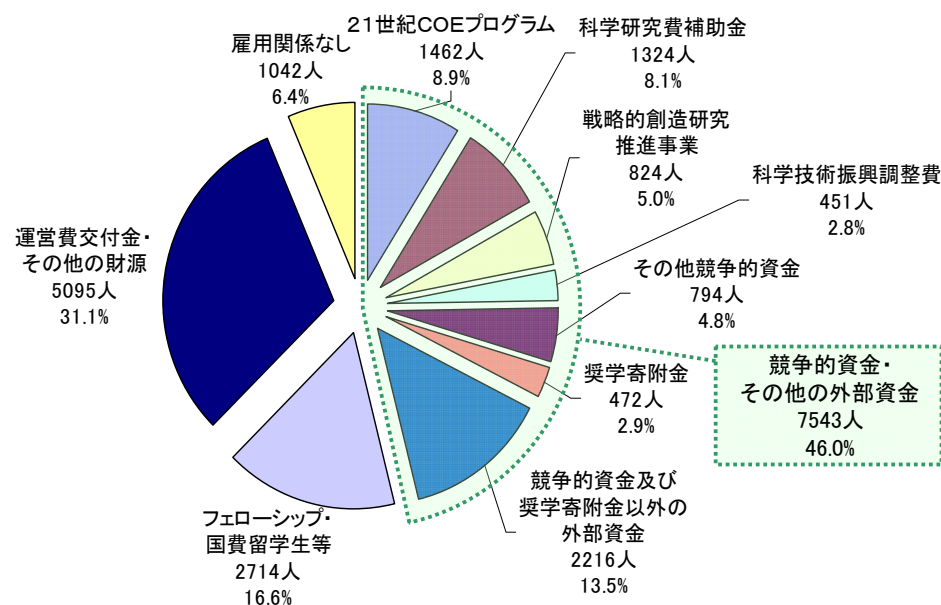
○ ポストドクター等について、第2期科学技術基本計画上の重点分野分類(注)に「人文・社会」等を合わせた分野別比率では、**ライフサイエンス分野**(生物学、農学、医歯薬学等)が**約4割**を占める。



(注)第2期科学技術基本計画上の重点分野分類とは、「ライフサイエンス」、「情報通信」、「環境」、「ナノテクノロジー・材料」、「エネルギー」、「製造技術」、「社会基盤」、「フロンティア」のこと。

出典:「大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査 -2006年度実績-」(2008年8月、文部科学省)

ポストドクター等の財源別内訳(2006年度実績)

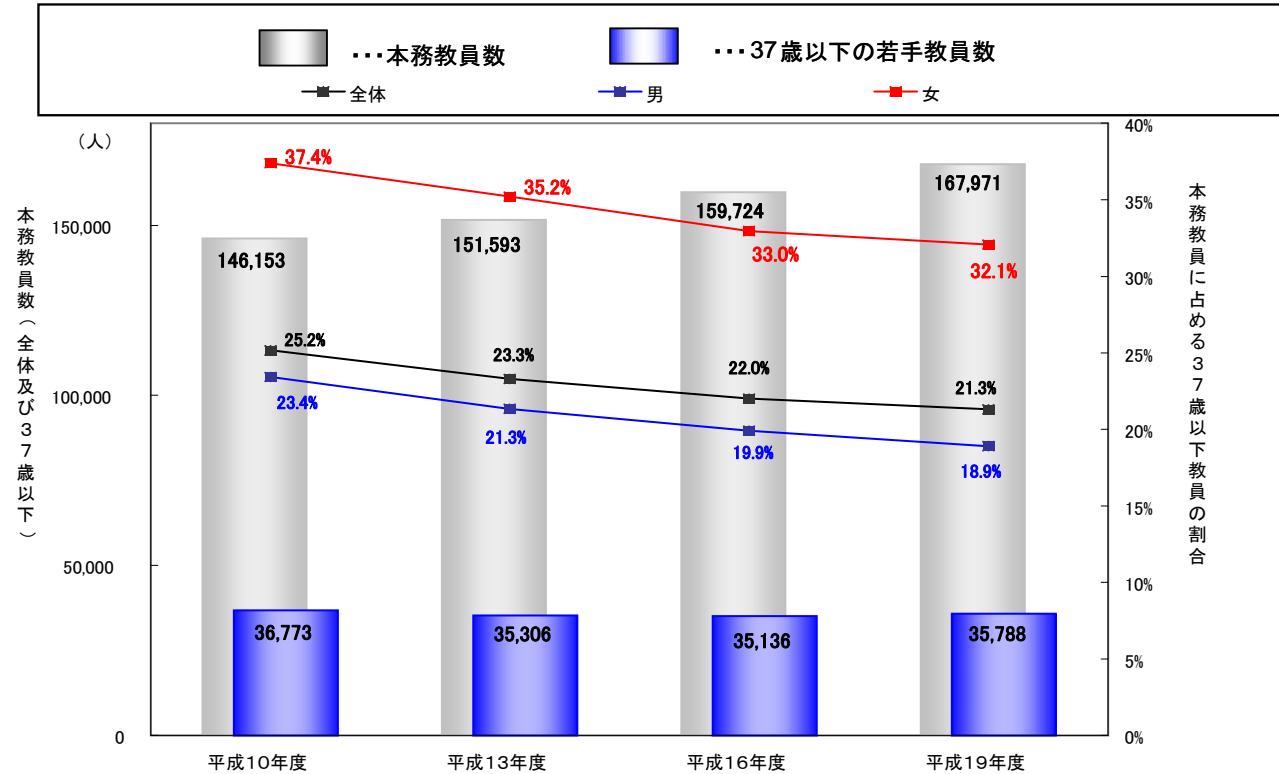


財源分類	2004年度実績	2005年度実績	2006年度実績
競争的資金・その他の外部資金	6,407 (43.1%)	7,317 (47.2%)	7,543 (46.0%)
競争的資金	4,579 (30.8%)	4,752 (30.7%)	4,855 (29.6%)
21世紀COEプログラム	1,436 (9.7%)	1,511 (9.8%)	1,462 (8.9%)
科学研究費補助金	958 (6.4%)	1,163 (7.5%)	1,324 (8.1%)
戦略的創造研究推進事業	1,231 (8.3%)	1,294 (8.4%)	824 (5.0%)
科学技術振興調整費	464 (3.1%)	404 (2.6%)	451 (2.8%)
その他競争的資金	490 (3.3%)	380 (2.5%)	794 (4.8%)
奨学寄附金	256 (1.7%)	394 (2.5%)	472 (2.9%)
競争的資金及び奨学寄附金以外の外部資金	1,572 (10.6%)	2,171 (14.0%)	2,216 (13.5%)
フェロースhip・国費留学生等	2,705 (18.2%)	2,766 (17.8%)	2,714 (16.6%)
運営費交付金・その他の財源	4,929 (33.2%)	4,663 (30.1%)	5,095 (31.1%)
雇用関係なし	813 (5.5%)	750 (4.8%)	1,042 (6.4%)
合計	14,854 (100.0%)	15,496 (100.0%)	16,394 (100.0%)

〈単位:人、括弧内は各年度実績に占める割合〉

大学における若手教員の状況(国公私全体)

- 平成10年度から平成19年度において、大学教員の総数は約22,000人増えているが、本務教員に占める**37歳以下の若手教員の割合は減少**している。



(注) 全体: 本務教員のうち37歳以下の若手教員の割合

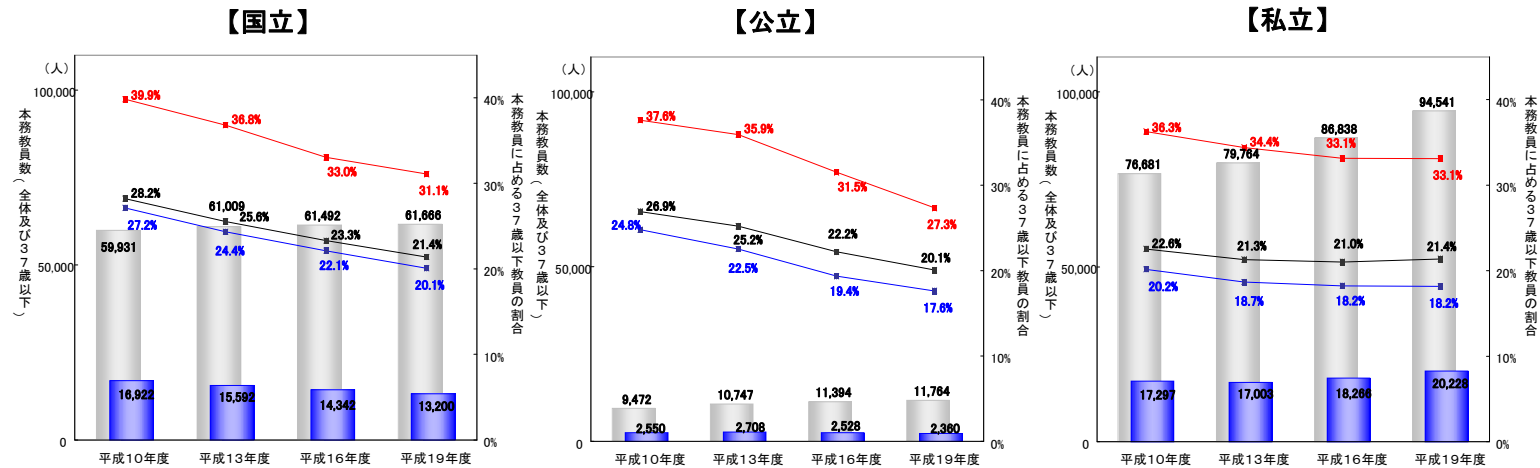
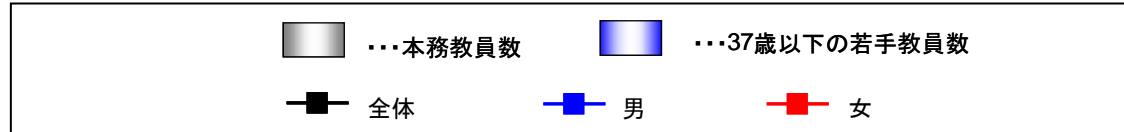
男: 男性本務教員のうち37歳以下の男性若手教員の割合

女: 女性本務教員のうち37歳以下の女性若手教員の割合

(出典) 文部科学省「学校教員統計調査報告書」

大学における若手教員の状況(国公立別)

○ 37歳以下の若手教員の割合をみると、国立大学、公立大学は、全体の傾向と同様右肩下がり。私立大学は横ばいである。



(注) 全体: 本務教員のうち37歳以下の若手教員の割合
 男: 男性本務教員のうち37歳以下の男性若手教員の割合
 女: 女性本務教員のうち37歳以下の女性若手教員の割合

(出典) 文部科学省「学校教員統計調査報告書」